

KADONO

第2号

第29代 千葉市長
神谷 俊一



市長就任後2年が過ぎ、任期の折り返しを迎えました。令和4年度に千葉市は政令指定都市移行30周年を迎えましたが、この節目の年に、目指す都市の姿を「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市」とする「基本計画」を策定しました。都市機能の中に緑と水辺を身近に感じられる環境をさらに磨き、文化スポーツなど市民活動が活発に行われ、いざというときのセーフティネットが働くまちづくりを

進めています。5月8日に新型コロナウイルス対策が5類に移行し、市民の皆様の自主的な対策を基本としながら、重症化リスクが高い方が確実に医療に繋がる対策を継続しています。今年こそは地域を元気にしていくため、物価高騰対策に加え、区役所の地域づくり支援課の設置、親子三代夏祭りの開催など引き続き全力で取り組んでまいります。



千葉市基本計画
コンセプト動画

KAMIYA SHUNICHI
OFFICIAL
SNS
FOLLOW ME!



市民とともに考え 市民とともに歩む

県市間連携が進んでいます

初当選以来、熊谷県知事と私で協議を行う『県と千葉市の連携推進会議』を設置し、千葉県との連携を強化し、県民、市民に双方にとって質の高い効率的な行政サービスの提供を進めています。新型コロナウイルス対策では、県の対策本部会議に千葉市を含む保健所設置市が出席し、情報共有がリアルタイムで行われ、ワクチン接種や入院調整、自宅療養者の迅速な実施につながりました。

また、市が運航する消防防災ヘリコプターの維持管理費はこれまで市が全額負担し県内全域をカバーしていましたが、県による年間7千万円の負担が実現し、即応体制をより強化した活動を行っています。令和5年5月の県内での震度5強の地震や6月の豪雨時には、市内に加え、県内の被害確認や情報収集のために出

動しました。また、子育て世帯向け支援金の幅広い支給も県市間連携で実現しています。今後とも県市にまたがる課題解決を図ってまいります。



災害時に市の司令塔となる災害対策本部



災害時、情報収集の搜索や救助など頼りになる消防防災ヘリコプター

神谷俊一 プロフィール

- 1973年 8月31日 愛知県生まれ
- 1996年 東京大学経済学部卒業、旧自治省入省
- 2001年 在ヨルダン日本国大使館
イラク戦争に遭遇、邦人保護の危機管理を経験
- 2010年 佐賀市副市長
- 2013年 千葉市経済農政局経済部長、経済農政局長を歴任
- 2015年 千葉市副市長に就任
- 2018年 消防庁国民保護・防災部広域応援室長
- 2020年 総務省自治行政局外国人住民基本台帳室長を最後に退官
- 2021年 過去最高得票で千葉市長に当選

神谷しゅんいち 後援会事務所

〒260-0013 千葉市中央区中央3-3-9 MF9ビル302号室
TEL:043-441-3233 FAX:043-441-3234
HP: <https://www.kamiya-shunichi.jp/> Email: chibacity@kamiya-shunichi.jp

神谷俊一をご支援いただける方へ

神谷俊一の政治活動に共鳴し、ご寄附していただける方は、下記の政治団体口座までお願いします。大事に使わせていただきます。

- 千葉銀行：
本店営業部(店番号100)
- 口座番号：
(普通)4123899
- 口座名義：
葛野会 神谷俊一(かどのかい かみやしゅんいち)

「葛野会」の謂れ

「千葉」という名の由来に、「千葉の葛野を見れば百千足(もちだ)る家庭(やにわ)も見ゆ国の秀(ほ)も見ゆ」という歌があります。応神天皇が、宇治野の丘から葛野を眺めて詠んだ国土讃歌です。「千葉」は、「葛」と言う言葉に掛かる枕詞で、「千の葉」で葛の葉が豊かに生い茂る様を表し、後半の国の繁栄にも重なります。「葛野会」という名前は、この歌からいただいた千葉ゆかりの名前です。

(仮称) 検見川・真砂スマートインターチェンジの新規事業化概要



スマートインターチェンジとは？

- 使用車両は ETC 搭載車両に限定
- 従来のインターチェンジに比べて低コスト
- サービスエリア／パーキングエリアにも設置可能



拠点都市としての 機能強化を目指して 広域道路ネットワーク

更なる観光需要の増加のほか千葉市中心部と高速道路までの所要時間が短縮し一般道路の渋滞緩和が期待されます。

高谷JCT⇄稲毛海浜公園所要時間



高谷JCT⇄千葉みなと所要時間



※所要時間：平成 27 年度全国道路・街路交通情勢調査
 混雑時旅行速度より算定 (混雑時：午前 7 時～9 時、午後 5 時～7 時)

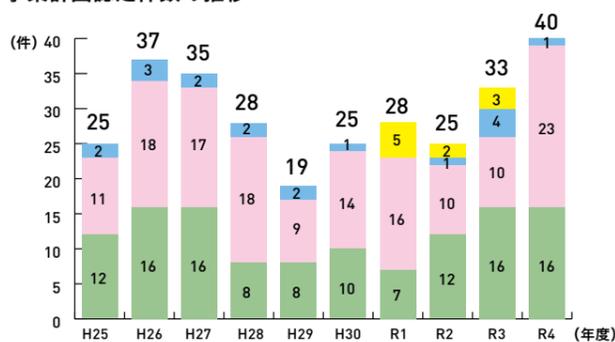
湾岸習志野ICと千葉北IC間に設置する、(仮称) 検見川・真砂スマートインターチェンジの新規事業化が決定しました。このスマートICの整備により千葉港を中心とする湾岸地域と東京方面とのアクセスが向上します。また、スマートICと併せて整備する、千葉西警察入口交差点と稲毛浅間神社前交差点の連続立体交差である「検見川立体」事業や車線拡張が認められ、市内の渋滞緩和や、産業・観光の活性化が期待されます。千葉湾岸の道路交通容量は東京・神奈川県側に比して不十分であり千葉港のメリットが活かされにくい、慢性的な市内渋滞の原因になっています。スマートIC整備に加えて、長期的には新たな湾岸道路の整備を進めています。

備が不可欠と考えていますが、こちらも実現に向けて動き始めました。

新湾岸道路整備促進期成同盟会

千葉県と千葉市を含む沿線 6 市で期成同盟会を立ち上げ、新たな湾岸道路の早期具現化を国土交通省に要望しています。緊急輸送道路としての役割、内房へ抜けていく業務車両のシフトによる市内渋滞の緩和、千葉港からの輸送力のアップなど千葉湾岸の移動の定時性の確保や生産性の向上が期待されます。今年度から実現に向けた国・県・市・NEXCO による検討会議が始まりましたが、市内部分の環境や景観、住宅地などへの影響を十分考慮し、具体化を進めてまいります。

事業計画認定件数の推移



これまでに培われた都市基盤を活かしながら、将来の雇用の場を創出し、税収を確保するため企業立地を進めていますが、令和 4 年度は 40 件の立地が実現し、過去最高の実績を更新しました。コロナ後の企業動向を捉え地域経済の活性化に取り組みます。

企業の立地が 好調です！

千葉市独自対策の補正予算 (令和5年度の臨時会と6月議会)

住民税非課税世帯	1世帯:3万円支給 同世帯子ども1人:5万円支給
0歳から高校3年生までを養育する世帯	1人:1万円支給
生活支援のためキャッシュレス決済による10億円分の還元キャンペーン	1人:上限5千円
高齢者・障害者施設、保育園・幼稚園等、地域公共交通、畜産農家等	事業継続支援金 事業者向け給付金

光熱費や物価の高騰が続いており、令和 4 年度は市内全世帯を対象に下水道料金を 4 か月間無料としたほか、令和 5 年 8 月から子ども医療費助成について調剤の窓口手数料を無料とし、第 3 子以降は入院、通院ともに自己負担を撤廃します。

また、令和 5 年度の臨時会と 6 月議会に千葉市独自対策の補正予算を提出しました。家計支援として、住民税非課税世帯に 3 万円、同世帯の子どもにひとり 5 万円を支給するほか、県の財源も組み合わせ所得制限なしで 0 歳から高校 3 年生までを養育する世帯に子どもひとり 1 万円を支給します。また、生活支援のためキャッシュレス決済による 10 億円分の還元キャンペーン



4年ぶりに復活する「親子三代夏祭り」

(ひとり上限 5 千円) を実施します。

事業者向けには、幅広い業種を対象とした事業継続支援金に加え、県の制度と整合をとりながら高齢者・障害者施設、保育園・幼稚園等、地域公共交通、畜産農家等を対象とした支援金を支給します。

コロナ禍の 3 年間で、地域活動が停滞気味です。今年度は親子三代夏祭りや幕張ビーチ花火フェスタを以前に近い規模で開催するほか、区役所に地域づくり支援課を設置して地域と顔の見える関係をつくり、健康づくりや地域活動再開を支援しています。

物価高騰対策と 5 類移行後の地域の 再生に向けて

経済支援と地域活性化、 地域活動再開支援



幕張ビーチ花火フェスタ(2022年)

カーボンニュートラルに向けて



「脱炭素先行地域」に県内初選定

環境省の実施する「脱炭素先行地域」に千葉市が、県内で初めて選定されました。今後、カーボンニュートラルを実現するため、公共施設・コンビニエンスストアなどに太陽光発電・蓄電池を導入し、災害時にも電力が利用可能なまちづくりを進めていきます。

この他、動物公園内の飼育施設に市内の剪定枝を材料にしたチップを燃料とするバイオマス熱ボイラーの導入を行うなど、都市と自然の魅力をあわせもつ千葉市の強みを脱炭素の視点でさらに強化し、都市力と災害対応力を強化していきます。